さくらぞう

桜ヶ丘病院
広報誌

輪島市石休場町
手弱女（たおやめ）桜

2014　春号
通巻15号

精神科A・B・C

～これまでに出逢った素敵な患者さんたち～⑥

ランチもの人気メニュー　ベスト5

メタボリックシンドロームを改善しましょう⑤

認知症あれこれソレ！③

保護者制度が廃止されました

ピアノをご寄贈いただきました

桜ヶ丘病院ブログ　http://sakublo702.blog.fc2.com/

精神科A・B・C

～これまでに出逢ったステキな患者さんたち～

病院長（社会復帰部長兼任）　竹内正士

Fさんは70代の「統合失調症」の女性、平成7年頃から「風の音や列車の音が文章になって聞こえる、詩のようにも聞こえる」などと感じ、また平成8年頃には耳元で色々な声が聞こえ、「離婚した夫が自殺未遂で〇〇病院にかつぎこまれた」と聞こえる、「拾ったバッグを盗んだと誤解され、警察に逮捕される!」「自宅付近で火事があったが、自分が放火犯に仕立て上げられ警察に逮捕される!」などと訴えるようになりました。入院する前日には、海岸まで行って入水自殺を図りましたが死にきれず、夜中に国道を裸足で歩いていてうずくまっているところを警察に保護されました。

妹さんと一緒に平成8年6月に当院を受診し、「幻覚妄想状態」との診断で女子急性病棟（閉鎖病棟）に医療保護入院となりましたが、薬物療法を開始後は比較的短期間で落ち着き、整形外科に外診に行ったり、病院内の歯科に受診していました。同年10月には開放病棟に転棟し観察していましたが、病状は安定しており、経過は良好と思われ、妹さんと今後の生活について話し合いました。妹さんは、病院の近くで独りでアパート暮らしをしてほしい、何かあれば病院に連絡し対応してもらいたい、とのご希望でした。平成9年3月から森本駅周辺でアパートを探し、物件が決まると、病院から精神科ソーシャルワーカー（PSW）や看護師（病棟長）がアパートまで一緒に同行し、生活に必要な物を買いそろえるのに助言をしたり、退院後の社会生活への不安を和らげる援助をしました。ある日、離婚した元のご主人が来院し「これまで何十回も（特に金銭面で）迷惑をかけられてきた」などと、本人への苦情や退院への不安を表明されましたが、PSWや病棟長も間に入り、本人の病状経過や病院の治療方針、再発防止策などについて説明し、元のご主人の了解も得て、同年6月に退院となりました。

退院後は規則的に外来通院服薬を続け、病院からもPSWや看護師が時折自宅を訪問していましたが、同じ年の10月に当院付属のデイケア「さくらんぼ」が開設されたため、Fさんも紅一点のオリジナル・メンバーとして参加されました。ジグソーパズルなどにも初めて取り組まれましたが、めきめき上達され、また、後半はトーンチャイムなどのプログラムにも積極的に取り組み、若いメンバーの相談相手になり、今では「デイケアのお母さん」的な存在で、皆からも親しまれています。

最近は、同じアパートの2階に元のご主人も生活しており、身体が不自由な元のご主人の面倒を見てあげたり、病院への受診にも同行していますが、3人の子供さんや妹夫婦との関係も良好とのことです。病院には月一回受診されていますが、外来で旧知の職員などを見つけると自分から話しかけ、昔話や最近の出来事などについて話に花を咲かせているようです。先日の診察の後、「桜ヶ丘病院に受診してよかった、いい先生や看護師さんたちに巡り合えて本当に良かった、自分は幸せ者だ…」としみじみ言われていたのがとても印象的でした。今振り返ると、退院促進や地域社会への移行、在宅の訪問看護など、最近の精神科医療を先取りするような形が20年近く前に当院で行われていたことになり、印象深い出会いであったと思われます。

患者さんの退院や社会復帰について関心のおありの方は、気軽にご相談ください。

メタボリックシンドロームを改善しましょう！　その5

清涼飲料水に注意！

- 清涼飲料水の多くは糖分を多く含み、多量に摂り過ぎると肥満の原因ともなります。
- 飲み物は、お茶やミネラルウォーターなどのノンカロリー飲料がおすすめです。
- 間食は3食で足りない栄養素を補うためのものと心得て、甘いお菓子やジュースを多く摂る習慣は改めましょう。

当院における
最近のランチもの人気メニューベスト5を紹介します!

長期入院の患者さんが多く、通常の定食形式の食事よりいつもと違ったランチ物の食事が好まれ残食等も少ないです。

ランチ物の食事は、栄養価でバランスが摂りにくい面もありますが、栄養強化食品などを献立に組み込み補っております。

認知症 あれこれソレ!

精神科認定看護師が認知症のいろいろお伝えします。

珠洲市・木ノ浦海岸

精神科認定看護師(老年期精神看護領域)　薮　一明

現在の日本、４人に１人が65歳以上の高齢者で、その高齢者のさらに４人に１人が認知症とその予備軍という困った状態になっています。

当院は精神科という特性上、症状の進んだ状態や、困った症状の認知症患者さんを受け入れることが多いのですが、私が認知症の方々と関わりはじめた20年以上も前の状況と比べると、認知症の方々の様子や患者さんを取り巻く状況も随分と変わってきました。

患者さんが生まれ育った背景で見ますと、以前は明治生まれの方が沢山いらっしゃいましたが、最近は昭和のはじめ頃の方が中心です。

明治～大正初め生まれの方々は、青春時代を自由で伸び伸びとした環境でお育ちになったせいか、心の底が明るい方が多く、「教育勅語」はソラで言うことができますし、子供の頃や青春時代に唄ったであろう「桜井の決別」、「籠の鳥」などという唄をみんなが声を揃えて唄うことができました。音楽というのは不思議なもので、認知症が進み、話す言葉が失われた状態でも、歌なら一緒に歌うことができたりします。若い頃のいきいきとした感情が甦り、楽しい時間、或いは苦労した体験であっても、それを共有することで、戸惑いの多い現在という時間においても、自分が生きる場所や意義を見いだし随分と落ち着かれ、お世話をする私たちも救われる思いを何度も体験致しました。

一方、最近入院していらっしゃる大正末～昭和の初め頃に生まれ育った方々にとっての青春時代は、戦争によって自由な気風は失われ、言いたいことも言えず、ただ堪え忍ぶことでしか生き延びることができなかった時代でした。自分のやりたいことを我慢し、とにかく目の前に与えられた仕事を、ただ一生懸命にこなすことに精力を傾けて過ごし、自分の「心」を遊ばせることが苦手な方々のように思えます。その大切な役割をこなす能力が失われてからでも、その役割を一生懸命に果たそうとする姿が、我々から見ると認知症の困った症状と言えるでしょう。

そのような方達が身近にいて、どう接して良いかわからない方はまず、アルバムを一緒に開いてみることをオススメします。認知症という脳の病気は、一般的に新しい記憶から失われていきますが、古い記憶は鮮明に残っています。写真と共にいきいきと生活していた頃の記憶が甦って、若い私たちが知らなかった時代のことをいきいきと話し始めるかもしれません。その話をきちんと聞いてさしあげることから何かが生まれます。

アルバムが無いという場合は、その頃その方が体験したであろう出来事を調べて、尋ねてみるのも良いかと思います。最近私が体験したことでは自衛隊のF104ジェット戦闘機が金沢市内に墜落した事件（昭和44年）や今の金沢市入江・新神田あたりにあった旧金沢競馬場にサーカスが来ていた話（昭和40年代？）で、日頃は目を閉じて何もしゃべらない方が、大きく目を見開いて沢山喋ってくださいました。明治生まれの方でしたら「浅の川」で泳いだ話しや「粟崎遊園」、「四高生」に胸をときめかせた話しだったんですけどね…（笑）わからない方は、まず身近なお年寄りに聞いてみてください。

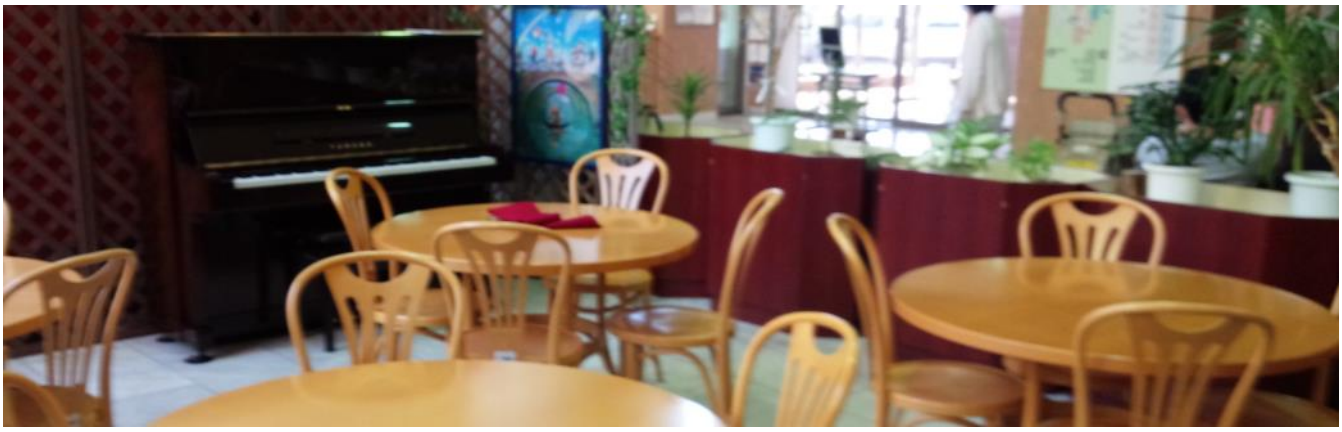
保護者制度が廃止されました

本年４月「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」の改正がありました。この法改正の大きなトピックと言えば、保護者制度の廃止です。これまでは、当院のような精神病院に入院する際、入院形態が「医療保護」となる場合は、保護者を選任する必要がありました。しかし今回の法改正では、『家族等（配属者、親権者、扶養義務者、後見人または保佐人）のうちいずれかの者の同意があれば』入院できることになり、家庭裁判所で選任の手続きをしていただく必要がなくなりました。しかし同時に、「家族等」の誰もが、優先順位なく、入退院の同意をすることが可能となったので、保護者となる人の負担は軽減される反面、可能な限り「家族等」全員の意思確認が必要と思われます。

また同時に、医療保護入院者の退院促進に関する支援が義務化されました。病院側は、入院されている患者さんに関して、これまで以上に積極的に関わり、退院可能な方に関してはよりスムーズに退院に向けて支援いきたいと考えております。

今回の法改正は、ここ近年でもかなり大きな変化であり、当方も未だ混乱しておりますが、患者さんやご家族、関係機関の方々にご迷惑にならないよう尽力していきますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

この件に関してのお問い合わせ、または具体的なご相談などは、当院相談室・ソーシャルワーカーへお問い合わせください。



ピアノをご寄贈いただきました！！

ある篤志家の方から浅ノ川グループに「ピアノを寄贈したい。」とのお申し出があり、理事長先生からお話をいただき、当院で喜んでお受けすることになりました。

3月28日に病院に搬入され、玄関ロビーの喫茶コーナー「さくら」内に設置されましたが、ダークオーク調のシックな色合いで周囲ともマッチし、とても素敵です。

ある日のお昼休みに、竹内院長がピアノを弾いているのを見かけました。子供の頃に少しだけピアノを習わされたことがあるとのことで、クラシックのちゃんとした曲は弾けませんが、ポピュラーソングや映画音楽などを自己流のアレンジで弾いたり、また、皆さんからリクエスト曲があれば、できるだけお応えしたいとのことでした。

具体的な使い道はこれから検討していきますが、ヴァイオリニストなどもお招きして、気軽な「ランチタイム・コンサート」なども実現できればと思っています。

医療法人社団浅ノ川
桜ヶ丘病院
精神科デイケア
デイナイトケア
「さくらんぼ」
ケアホーム
「プリムラ」
グループホーム
「ハイツ北金沢」

〒920-3112
石川県金沢市観法寺町
ヘ174番地
ＴＥＬ
076-258-1454

標榜診療科
精神科　内科　歯科

病院理念

精神科専門病院として、心のケアから高齢者医療にいたるまで、
心のこもった医療を行います。

基本方針

1）優れたスタッフを充実させ、質の高い医療を提供します。

2）安全性、信頼性を常に考え、十分な説明と理解と同意に基づいて治療を行います。

3）地域医療の充実に貢献する病院を目指します。

患者さんの権利

1．あなたは、良質な医療を受ける権利を持っています。

2．あなたは、医師、病院を自由に選択する権利を持っています。

3．あなたは、十分な説明を受けた後に、治療を受け入れるか、または拒否する権利を持っています。

4．あなたは、ご自身の情報を得る権利を持っています。

5．あなたは、ご自身の情報について機密が守られる権利をもっています。

6．あなたは、健康教育を受ける権利をもっています。

なお、皆様は権利とともに義務も発生いたします．入院生活を送っていただくうえでは必ず病院規則はお守り下さい。

桜ヶ丘病院　外来診察スケジュール

診療時間		午前（9:00～12:00）						午後（13:30～17:00）					
診療科目		月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土
精神科	一診	岩崎	鳥居	林	竹内	天野	竹内	富岡	中川	天野	岩崎	林	
	二診	中川		竹内			廣澤				天野		
内科			宮内							宮内			

《外来受付時間》

■初診　午前　8:30～11:00　■再診　午前　8:30～11:30
　　午後 13:00～16:00　　午後 13:00～16:30

☆初診の受診について、事前に電話相談をさせていただいておりますので、お気軽にお電話下さい。

☆初診については、診療時間が長くなる場合がありますので余裕をもって来院して下さい。